

環境会計

環境に配慮した事業活動を進めるためのコストや効果を定量的に把握し、着実に環境負荷を低減させています。

環境保全コスト

企業活動にともなう環境負荷を低減させる設備機器への投資、環境対応形商品の研究開発にともなう費用、環境情報の公開、地域活動への支援などの費用を環境保全コストとして集計・管理しています。

(単位:百万円)

コスト分類	事業エリア内コスト 上・下流コスト	管理活動コスト	研究開発コスト	その他コスト	合計
活動の内容	公害防止 地球環境保全 資源循環	EMSの整備・運用 環境情報の開示・広告 社員への教育	環境保全に資する製品 研究開発	土壌調査・浄化 環境保全活動の 地域支援など	
2006年度	57.9	101.2	7.8	18.3	185.2
2007年度	140.3	54.5	19.8	1.4	216.0
2008年度	77.4	25.7	53.7	3.3	160.1
2009年度	78.6	10.4	58.6	7.9	155.5

※2007年度は、省エネのために太陽光自家発電装置を設置しました。

環境保全効果

エネルギー使用量の総量は減少しましたが、生産量も低下したため、原単位では前年比で増加しました。一方、産業廃棄物の発生量は総量、原単位ともに前年比で、削減することができました。今後もエネルギー使用量と産業廃棄物の削減に取り組んでいきます。

● エネルギー使用量・原単位の推移

	2006 年度	2007 年度	2008 年度	2009 年度
エネルギー使用量 (原油換算量)(kl)	7,500	9,400	8,100	7,360
原単位 l/t(生産量)	114	144	95	105

※2009年度から「エネルギー使用の合理化に関する法律(省エネ法)の改正にともなって全事業所のエネルギー使用量を集計しています。

● 産業廃棄物の発生量・原単位の推移

	2006 年度	2007 年度	2008 年度	2009 年度
産業廃棄物発生量 (t)	2,990	3,890	3,680	2,330
原単位 kg/t(生産量)	45	60	43	33